

水資源 の 利用率

水資源の量：基本的には淡水のみが水資源

全地球上では、100兆t/年 世界の年間平均降水量：750mm/m²

利用可能な水量（限界利用率：20%）は

$$100 \times 0.2 = \mathbf{20兆t}$$

日本では、年間降雨量：6,000億t

（年間平均降水量：1600mm/m²）

6,000億t x 0.2 = 1,200億t ~ 1,400億t : 利用限界量

実際には、15%（900億t）が限度

日本ではなぜ利用率が低いのか？

河川水量の季節変動が大きく、大河はなく急流河川が多いので利用率を高めるのが困難。

利用可能な900億tの残り（5,000億t 余）は、

川から海へ(2500億t)、蒸発・蒸散(2000億t)により失われる。

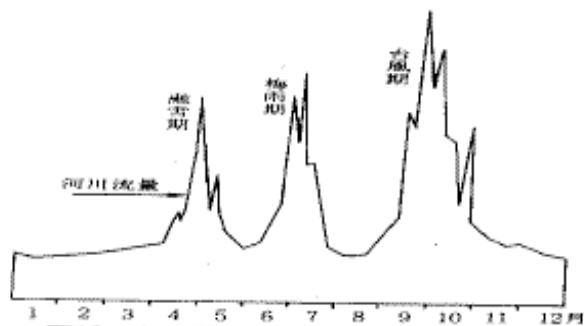


図19 わが国での河川流量の季節変動

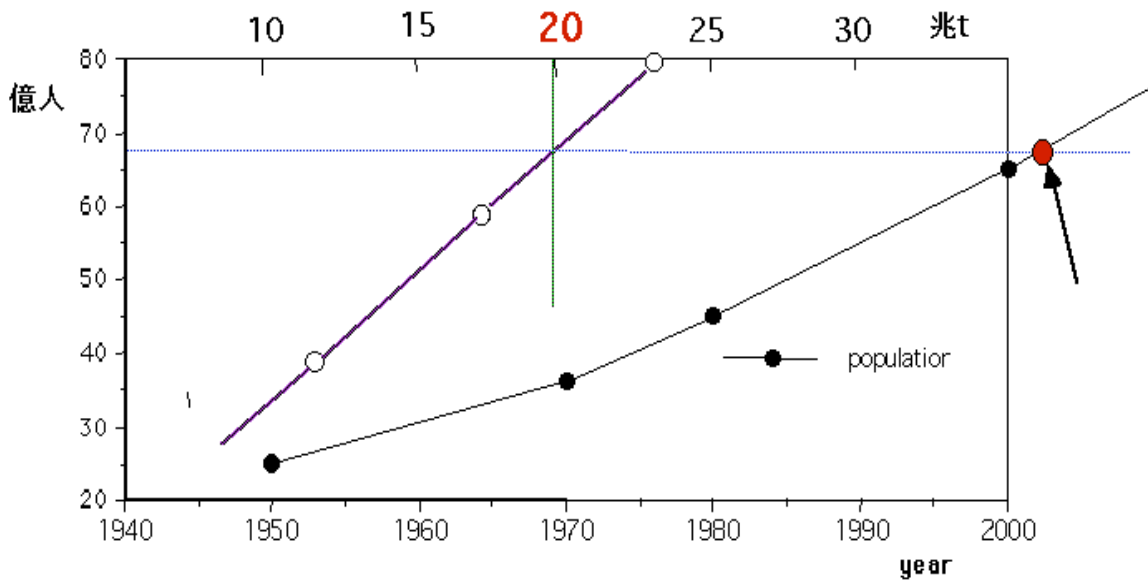
世界の人口と水需要

利用可能な限界水量

$$\text{（限界利用率：20\%）} = \mathbf{20兆t}$$

Q 限界利用率に達するのは世界の人口が何人となった時か？

それは西暦何年にあたるか？ ●の時点。



<国連報告書による警告>

「改善しないと戦争」
80カ国で水が不足
 国連が報告書

【ワシントン17日ロイター】国連は十七日、多くの国々で二〇二〇年までに水不足の問題が深刻化し、水資源の供給や衛生・灌漑などに有効利用で大きな改善が求められなければ、紛争や戦争を誘発しかねないことを警告する報告書を発表した。

それによると、現在八十の国々で水の供給が不十分

である。発展途上国では、上水で回復される前の下水に浄化処理が施されていないのは全体の二割だけ。また、途上国では飲料水の五〇％が、水資源の確保ができていないとされている。

国連人間居住委員会のワリ・ヌアウ人間居住センター事務局長は「今世紀の戦争は主に石油を原因としているが、二十一世紀の政治的、社会的動機は水をめぐって争われることになる」と警告している。

[▲元 \(講義資料\) へ戻る](#)